

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	19 - デ研 - 2
-----------------	-------------

平成19年度配分 研究成果の概要

研究名	地域デザイン振興の新展開に係る動向調査				
配分を受けた 特別研究費	デザイン研究科長 特別研究費				700 720 千円
研究者氏名 (代表者)	学部名 (研究科名)	学科名	職	氏名	共同研究の 場合の分担
	デザイン学部	生産造形学科	教授	黒田 宏治	
共同 研究 者					
発表の方法 (予定で可)	1 紀要(静岡文化芸術大学研究紀要)		号数	第 8 号 (2008年 3月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名: 芸術工学会 2007 春期大会(東京) 芸術工学会 2008 春期大会(高岡)		発表日	平成 19 年 6 月 30 日 平成 20 年 6 月 14 日	
	3 その他 発表の方法:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

近年では旧来型の地域のデザイン振興行政(地場産業型)は総じて縮小傾向である一方、新たな産業価値・文化価値の創出・発信をめざすデザイン都市構想や新たな担い手・連携を切り口にデザイン導入に成果も期待されるなど、次なるデザインを巡っての地域の胎動も予感されるところがある。この研究では、まずは本年度(H19年度)、それら動向横断型で、地域のデザイン振興の新展開、ないしその可能性の情報収集、考察を行い、いくつかの方向性、展開課題の探究に資することを目的とした。

(研究の実施方法等)

(1) 地域デザイン振興施策・プロジェクトの最近の変化動向の調査・収集

(2) 地域デザイン振興の新展開事例のケーススタディー

- ・地域デザイン政策・プロジェクトに関連して、政府系機関(日本産業デザイン振興会)、石川県(工業試験場)、名古屋市(デザイン都市シンポジウム)など、ヒアリング調査、情報収集を行った。
- ・経済産業省デザイン政策資料、デザイン導入効果測定調査研究資料、地域関連デザイン施策資料(北海道、神戸市等)の収集調査を行った。

(3) 地域デザイン振興新展開のいくつかの方向性、展開課題の考察・検討

- ・芸術工学会の春期大会(2007・東京、2008・高岡)のセッションコーディネーター、パネリストを務めることにより、専門家等討議を通じての地域のデザイン状況に関する情報交流、推進課題提起などを行った。
- ・地域活性化と第3セクターの可能性に関する調査研究(ソウルでの研究発表討議を含む)のプロジェクト事例に対して、デザイン関与についてフォロー分析整理を行った。

(得られた成果等)

(1) 地域活性化と第3セクターの可能性に関する調査研究(主に H17・18 年度特別研究)のフォローの中から、地域における第3セクター事業の成功事例分析を通じて、その事業戦略面においてデザイン機能の積極導入およびデザイン専門家(デザイナー等)の参画が、重要な要因となる可能性の高いことが明らかにされた。

(2) 芸術工学会セッション討議などを通じて、「地域」「実践」「つなぐ」「社会化」などのキーワードが改めて確認されるとともに、新たな総合化の可能性も模索されている様子も明らかにされた。また、伝統産業とデザインの関連にも焦点が当てられるなかで、一般にデザインの主たる対象とされることの多い物(制作物)だけでなく、時間やプロセス、作り手と使い手のインタラクションにも議論の主軸が割かれるなど、デザイン認識の変化、広がり萌芽も窺えるなど、研究課題への示唆も得られた。